

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス カムさぁ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	世代間交流による実践的な社会性育成 高齢者グループホーム・デイサービスを併設しており、日常的に交流があります。 これは他事業所には少ない、地域共生型の大きな特色です。	あいさつ・会話・思いやりを自然に学ぶ 実社会に近い関わりを経験できる 「支援される側」から「支える側」への成長	世代間SST(ソーシャルスキルトレーニング) 高齢者との会話練習 相手の気持ちを考えるワーク 昔の話を聞き、要約して伝える活動 実社会に近い環境で実践型コミュニケーション力を育成
2	小1～高3まで一貫した集団療育 カムさぁは集団療育を基本とし、小学1年生から高校3年生まで幅広く受け入れています。 単年度支援ではなく、継続的に成長を見守れる体制が整っています。	異年齢交流による社会性の向上 年齢に応じた役割意識の育成 長期的視点での成長支援	法人連携によるキャリア支援強化 母体法人、社会福祉連携推進法人ジョイント&リップルのネットワークを活かし、他事業所見学、福祉・就労系事業との接点づくり、早期からの進路相談体制整備、小1から高校卒業後まで見据えた「途切れない支援」
3	将来を見据えた移行支援 「今の困りごと」だけでなく、社会に出る未来まで見据えた支援を行います。	進学・進路相談 職業体験・社会スキル習得 自立に向けた生活力の育成	法人連携による“新しい福祉モデル” 母体法人は社会福祉連携推進法人ジョイント&リップルを設立。高齢者・障がい者・児童福祉それぞれの専門性を統合し、複雑化・複合化する福祉課題に対応、早期からの新しいアプローチ、地域全体で支える仕組みづくりの実践

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育中心による個別対応の限界	集団療育は強みである一方、個別ニーズが強いケースへの対応負担、行動課題の強い児童がいる場合の影響、個別支援時間の確保が課題になりやすい	「完全個別化」ではなく、“集団の中での個別最適化”を高めること これにより、集団療育の社会性育成効果、個別支援の安心感の両立を可能とする。
2			
3			